

「3D プリンターを用いた臓器模型作成」に対するご協力をお願い

— 2019年10月1日～2024年3月31日の間に当院 泌尿器科で泌尿器系腫瘍（副腎腫瘍、腎腫瘍、膀胱腫瘍、前立腺腫瘍）などと診断され、CT・MRI 検査を受られた方—

研究責任者 獨協医科大学日光医療センター 泌尿器科 学内准教授 幸 英夫
研究分担者 獨協医科大学日光医療センター 泌尿器科 レジデント 大久保 尚弥

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、研究責任者または分担者までご連絡をお願いします。

1. 研究の目的 及び 意義

近年、様々な技術革新が進み、従来の開腹手術より患者様への負担が少ない、カメラを用いた内視鏡手術が多くなっています。しかしながら、開腹手術に比較して、若手医師が直接対象臓器を触診できないため、術前の解剖理解、手術シミュレーションが重要です。高額な工作機械などを用いた臓器モデルを作成し、活用する研究が進められ、有用とされますが、個々の患者さんへの活用についてはコストの問題から難しい現状があります。本研究では、市販の安価な3D プリンターを用いて臓器モデルを作成し、コメディカルスタッフ（看護師など）や若手医師・医学生の研修、術前シミュレーションに活用し、評価を行います。将来的には個々の患者さんで臓器モデルを作成し、患者さんへの術前説明やコメディカルスタッフ・若手医師・医学生の研修に活用し、患者さんとのコミュニケーション不足の解消や安全な手術手技の向上を目指します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年10月1日～2024年3月31日の間に獨協医科大学日光医療センター泌尿器科において、泌尿器系腫瘍（副腎腫瘍、腎腫瘍、膀胱腫瘍、前立腺腫瘍など）と診断され、CT 検査を受けられた方100名を研究対象とします。

2) 研究実施期間

2020年7月29日（倫理委員会承認日）～ 2025年3月31日

3) 研究方法

通常の診療内容（画像データを含む）を用いて、3D プリンターによる臓器モデルを作成、手術研修に活用・評価します。

4) 使用する試料・情報

研究に使用する試料・情報は下記のとおりです。

診療情報： 年齢、生年月日、性別、診療科、病名、手術日、
CT 画像または MRI（画像情報）

なお、患者さんの個人情報には削除し、匿名化して、プライバシー保護には細心の注意を払い、泌尿器科の医局で厳重に管理されます。

5) 試料・情報の保存

本研究に使用した試料・情報は、研究発表後5年間保存し、匿名化した状態で紙データはシュレッターし、電子データは完全に消去します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、泌尿器科 外来窓口や待合室にポスターを掲示してお知らせします。

6) 研究計画書の開示

患者さんのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

7) 研究成果の取扱い

この研究の成果は、患者さんのデータを個人情報がわからない形にした上で、学会や論文で発表する予定ですのでご了解ください。

8) 問い合わせ・連絡先

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年8月31日までに下記にお申し出ください。その場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

研究責任者：獨協医科大学日光医療センター 泌尿器科 学内准教授 幸 英夫（ユキ ヒデオ）

問合せ先：獨協医科大学日光医療センター 臨床研究支援室

電話：0288-76-1515（平日：9時00分～17時00分）

FAX：0288-76-1030

郵送先：〒321-2593 栃木県日光市高德 632

獨協医科大学日光医療センター 臨床研究支援室